

第 1 1 回
議 会 報 告 会 報 告 書

《小田地区》

平成 29 年 1 月 14 日 (土) 開催

平成 29 年 5 月 8 日

角 田 市 議 会

意見・質問・要望等

①耕作放棄地対策について、昨年夏に農業委員の方と小田、豊室の耕作放棄地の現状を見て回った。耕作放棄地が非常に多くなっている。私達だけではどうにもならない。耕作放棄地の復元と、地に合った作物を、角田市、市議会、農家が知恵を出し協力して、角田市全体で考えて欲しい。【小田自治センター】

②阿武隈川の堤防から川の間にある耕作放棄地にごみを捨てている。耕作放棄地を検討することが必要である。【南町公民館】

③産業建設常任委員会の重点要望について、耕作放棄地対策としてどのような対策を取ろうとしているのか。真剣になって考えて欲しい。【西根自治センター】

④耕作放棄地が生じる原因を多角的に捉えて政策立案することを要望する。【西根自治センター】

当日の回答

①様々な事情が重なって耕作放棄地になっていると思います。要望として承りました。

②私有地であるので難しい面はありますが、耕作放棄地、農業後継者問題については深刻な問題となっており、その対策について当局と検討していきます。

③当局回答だけでは不足していると感じており、それに対する考えとして議会としての方針を示しています。今後皆さんのお声を頂きながら検討していくという段階です。

④ご指摘を真摯に捉え、様々な観点から検討を重ねていきます。

当局・議会回答

農業者の高齢化、担い手不足、農産物の価格低迷等農業を取り巻く環境が年々厳しさを増しております。場所によっては、再生が困難と思われる農地については、非農地の判断もせざるを得ない状況もあります。

農業関連団体が連携、協力し耕作放棄地対策をすすめていきます。【農業委員会事務局】

農業従事者の高齢化や人口減少、耕作放棄地の増加などによる農村地域の問題は、本市に限らず全国的な課題となっております。今後も、議員活動の中で多くの方々と意見交換をしたり、他自治体の事例を参考にするなどして、積極的に政策提言を行ってまいります。【議会】

意見・質問・要望等

協働のまちづくりが始まり10年経過した。みんなの意見を聞くのも大切だが10年聞きっぱなしではだめだ。強力なリーダーシップで方向転換して頂きたい。市長はしっかりとリーダーシップを取れるはずである。【小田自治センター】

当日の回答

他の地域でも協働のまちづくりについて、10年が経過し一つの節目として、もう一回原点に立ち返るなり、もう一度見直した方が良いのではないかと意見を伺っています。時間をかけ見直す時期に来ていると思っています。

当局・議会回答

「協働のまちづくり」は基本理念として、今まで以上に市民の関心が高まるよう啓発活動を進めます。一方、協働のまちづくり事業については、当日の回答のとおり、一定の見直しが必要であると考えますので、地域にある課題を解決し、市民が安心して暮らせる地域づくりを目指せるような事業の見直しを地域と一緒に検討していきます。【政策企画課】

意見・質問・要望等

農地を持っていないが、農業をやりたいと自分の宅地で野菜を栽培しているが、宅地と農地では課税額が違う。宅地を農地に転換できないのか、法律を変えて欲しい。【小田自治センター】

当日の回答

農地を借りて農業をすることはできないのでしょうか。宅地を農地に転換することは難しいと思います。

当局・議会回答

現在の取り扱いでは、固定資産税の評価は1筆ごとに行うことになっており、該当する部分の宅地を分筆して、その筆の地目を畑に変更するなどの登記手続きが必要であり、農業委員会との調整などが必要な場合もあります。

また、農地法においては、土地に労資を与え肥培管理を行って作物を栽培する土地を農地としていますが、宅地敷地内の一部を家庭菜園として利用している場合は、農地には含まれないと解されています。

なお、参考までに、角田市において農地を取得するためには、農地を取得しようとしている方の農地の経営面積が5,000㎡以上であることが必要となっています。これは、農地の効率的利用を図る目的で、法において農地取得に係る下限面積が定められているからとなっています。

宅地を農地に変更することができる法律に改正していただくことは、なかなか難しいと思われます。【税務課】

農業に関すること

意見・質問・要望等

耕作放棄地対策として農地水保全隊を市全体として組織し、多面的機能支払交付金を頂いて対応すれば解決する。角田市一つにし、市内5千町歩(単価5千円/反)で2億5千万円を頂いて問題の地区に当てれば解決するので是非お願いしたい。【小田自治センター】

当日の回答

要望として承りますが、その補助金が耕作放棄地の対策に使えるかどうかも含め調査させてください。

当局・議会回答

農地の維持や施設の長寿命化に向けて、今後も多面的機能支払交付金の取組組織、活動地域の拡大推進に努めていきます。【農政課】

地域交通・デマンド型乗合タクシーに関すること

意見・質問・要望等

継続調査事項に地域医療・救急体制に関することとある。是非とも、みやぎ県南中核病院までデマンドタクシーを運行して欲しい。【小田自治センター】

当日の回答

この要望は多く頂いています。村田町・柴田町からも要望が出ていますが、大河原町側の理解が得られない状況です。今後も良い方向になるように努力していきます。強い要望として承ります。

当局・議会回答

中核病院など、市外へのデマンドタクシーの乗り入れについては、設置自治体の大河原町より乗り入れによる地元タクシー会社の民業圧迫があることより、大河原町の地域公共交通会議では、難しい旨、仄聞しています。また、デマンドタクシー導入の主旨が、地元商業の活性化であることから、他の手法がないか、例えば、高齢者福祉タクシー券の交付金額の増額などでの側面支援が考えられます。【政策企画課】

意見・質問・要望等

かなり前から市内の病院で夜間急患診療を行っている。それに対し市は補助金を出している。時代は変わり、みやぎ県南中核病院、仙南夜間初期急患センターがで24時間体制になり、地元に頼る必要がなくなった。是非、これを変えて欲しい。市内の病院の夜間急患診療にかかるお金を別のことに使って欲しい。現在、夜間急患診療に補助をどのくらい出しているのか。【小田自治センター】

当日の回答

額については即答できませんが、今、二重三重の対策を取っています。1つ目は地区の中で夜間の対応をしてくれる病院。2つ目は、外科、小児科、救急等は、24時間中核病院で対応します。3つ目は、そこまでいかないが、例えば、熱が出た、腹痛など内科的なものは仙南夜間初期急患センターで受診できます。要望として検討していきます。

当局・議会回答

夜間急患診療確保対策事業補助金については、直近の3年間で、各年度約300万円を交付しています。

みやぎ県南中核病院や仙南夜間初期急患センターの整備により、当補助金の交付は不要ではないかとのご意見と思いますが、各病院等の現状での役割を説明しますと、みやぎ県南中核病院は、24時間体制で高次医療を必要とする方を診療し、仙南夜間初期急患センターは、月曜日から金曜日(土・日、祝日、12/29～1/3は休診)の午後6時45分から9時30分までの受付時間で、内科(16歳以上の方)のみを対象としております。夜間急患診療確保対策事業補助金を交付している市内3病院(金上病院、仙南病院、同済病院)については、午後5時30分から翌朝7時30分までの診療時間で、内科又は外科を診療しております。

以上のような診療体制となっておりますので、夜間急患診療確保対策事業を廃止した場合、午後9時30分以降、翌朝までの時間については、身近な医療機関での一次医療の提供ができなくなり(内科)、また、外科の一次医療の提供についても、夜間はできなくなります。

しかしながら、夜間急患診療確保対策事業については、深夜の受診者数の推移等を分析するなど、今後見直しを検討していきます。
【健康推進課】

放射能に関すること

意見・質問・要望等

仙南クリーンセンターでの放射性物質汚染廃棄物の焼却について、宮城県全体で行うと知事が発令して、角田市でもやるんだとあった。今後の審議はどのようになっているのか。【小田自治センター】

当日の回答

県内全市町村の了解が得られず、一時ストップしています。

当局・議会回答

8,000Bq/kg以下の放射性物質汚染廃棄物については、今後開催される「宮城県指定廃棄物等処理促進市町村長会議」で、方針が示される予定であります。県北の方では、堆肥化等を進めている自治体もありますが、県の方針にならって進めていく考えであります。【生活環境課】

意見・質問・要望等

- 仙南クリーンセンターの試験運転について、
- ①普通は煙突から出る煙の色は見えないが、遠くから見ると煙が見える、何か問題はないのか。
 - ②最終処分場のごみを再度燃やす性能があるのか。
 - ③ダイオキシンの濃度を教えて欲しい。【小田自治センター】

当日の回答

- ①煙突から出ているのは煙ではなく、殆どが水蒸気なので問題はありません。また、ダイオキシン等を除去する装置が付いているので心配ありません。
- ②焼却炉は流動床式ガス化熔融炉と言います。最終処分場のごみを分別して再焼却し、ごみから発生した灰をスラグ化して再利用し、金属類を回収します。
- ③ダイオキシン濃度は0.1ナノグラム以下になっているはずです。

当局・議会回答

- ①、②については、当日の回答のとおりです。
- ③ダイオキシン濃度について、国の基準は、当日の回答のとおり0.1ナノグラムになっています。
仙南地域広域行政事務組合の基準は、さらに厳しく0.01ナノグラム未満とし、対策をしています。
【生活環境課】

意見・質問・要望等

仙南クリーンセンターができることにより、ごみの分別方法は変わりますか。【小田自治センター】

当日の回答

分別方法は変わりませんが、変える必要があるのかも含め、平成29年3月まで試運転を行っているところです。

当局・議会回答

当日の回答のとおりです。なお、布団や剪定枝など、直接自分で搬入するとき規格の制限がありました。仙南クリーンセンターになり撤廃となりました。【生活環境課】

意見・質問・要望等

小田自治センターの除雪をして欲しい。【小田自治センター】

当日の回答

交通量が多い道路から除雪をしているようです。積雪量にもよりますが朝の4時頃から除雪を始めていますが、なかなか追いつかないのが現状のようです。自治センターの除雪につきましては、できるところは協働のまちづくりの精神でお願いできればと思います。

当局・議会回答

各施設管理者が除雪することになっておりますので、地域の皆様のご協力をよろしく願います。【生涯学習課】

意見・質問・要望等

暗いので、防犯灯を設置して欲しい。【小田自治センター】

当日の回答

市では、年間の設置数を決め予算化しています。申込順や危険度の高いところから設置しています。要望を出しているのなら順番待ちになっていると思います。なお、設置の要望については、各行政区長が防災安全課に申請書を提出することになっています。

当局・議会回答

市では、行政区長さんからの設置要望書を提出していただき、現地調査を行い防犯上危険度が高い場所から優先し設置しております。
【防災安全課】

意見・質問・要望等

防犯灯の設置要望について、斗蔵地内から藤倉地内の間500m内に防犯灯を設置して欲しいが、この区間は東北電力の電線が通っていないので電線を通す事が先だと思い、東北電力に要望をしてきた。市にも言わなければならなかったのでしょうか。【小田自治センター】

当日の回答

防犯灯設置の要望については、各行政区長が防災安全課に申請書を提出することになっております。今回の議会報告会は現場視察が必要なご意見・ご要望が出ることを予想して明るい昼間に行くことにしましたので終了後、現場を教えてください。

※報告会終了後、現場確認

当局・議会回答

防犯灯設置の要望については、東北電力ではなく市に要望していただくようになります。行政区長さんからの設置要望書を市に提出していただき、該当場所の状況を現地調査し防犯上危険度が高い要望箇所から設置しております。また、市が、東北電力に設置箇所を一括して電力提供等依頼しております。【防災安全課】

意見・質問・要望等

広報かくだ1月号にウォーキングとノルディックウォークを勧める記事が掲載されているが、ウォーキングやノルディックウォークをする場所を整備してから推進して欲しい。四方山・大森山・斗蔵山など自然の中を歩くウォーキングを勧めて欲しい。また、ウォーキングマップはどこに行けばもらえるのか。広報かくだに掲載して欲しい。【小田自治センター】

当日の回答

要望として承りました。

当局・議会回答

ウォーキングしやすい場所を整備してからウォーキング・ノルディックウォークを推進してほしいというのは、ごもっともなご意見だと思いますが、阿武隈川堤防や角田中央公園内を歩くなど、既存の環境を利用して各自の体調と相談しながら歩いていただくことも大切なことと考えております。

自然の中を歩くウォーキングイベントとしては、5月のゴールデンウィークに大森山のウォーキング(枝野自治センター主催で枝野地区民対象)、10月に斗蔵山を歩くあぶQウォークととくら祭り開催時のウォーキング、11月に四方山トレッキング(商工観光課担当)などが開催されております。

また、ウォーキングマップ配布場所の情報提供については、広報かくだ等に適宜掲載していくよう検討していきます。【健康推進課】

意見・質問・要望等

- ①市内の中学校3校にプールがあるのか。角田中学校にはプールが無いのでは。
- ②市民プールは角田衛生センターの熱を利用して温水にしているのか。
- ③今は教育上プールを必要としないのか。基本にお金がかかることは当たり前、水を貯めるにもお金はかかる。角田中はわざわざ市民プールに行っている。教育環境の整備を真剣に進めて欲しい。【小田自治センター】

当日の回答

- ①中学校3校にプールはありますが、使えない状態です。
- ②市民プールは独自に重油を炊いて温水にしているので、角田衛生センターの熱は利用していません。
- ③当局に確認しながら検討していきたいと思えます。

当局・議会回答

- ①当日の回答のとおりです。
- ②同上(ただし、重油ではなく灯油です)
- ③中学校のプールの使用は教育課程、使用頻度、管理体制、財政面など総合的に検討し、市民プールを使用することとしたものです。
なお、中学校の水泳の授業については、1・2年生は必修、3年生は選択して履修できるようになっています。授業時間数も数時間程度で、時間配分は学校長に任されています。【教育総務課】

意見・質問・要望等

①総務財政常任委員会の継続調査事項に、使用されていない施設が複数挙げられているが、今後どのようにするのか。【新丁三区区民会館】

②小田小学校廃校時点で跡地利用検討委員で検討してくださいと市から言われた。検討委員会を設立し、答申書を当時の振興協議会会長名で、地元で使いたいということで、自治センターの移行等を図面とレイアウトも付けて市に提出した。それ以降6年間、何も進展がない。決定権は地元なのか、誰に決定権があるのか、答申書に対しての答えが何もない。それに対する協議も何も行われていない。どう進めるかをもう一度見直してもらいたい。【小田自治センター】

当日の回答

①旧角田女子高は現在角田高校の運動部が使用しているため、所有者の宮城県も方針を示していません。旧小田小学校については、今後のどのようにするかを地元の方々に検討して頂いています。旧学校給食センターについては3,800万円で公売にかけましたが買い手がつかなかったため、査定をし直し、安価にネット公売にかけています。

②小田地区振興協議会から市に対して答申書を提出してから、それに対してのリアクションが何も無いとのことですので、担当課に確認します。

当局・議会回答

旧角田女子高跡地の現在の使用状況については、ほとんどの体育施設等を部活動で利用している状況で、グラウンドはサッカー部、ソフトボール部及び陸上部が使用しており、生徒集会場はバレーボール部の男子と女子、武道館は空手道部が使用している状況です。

陸上部につきましては、今年度から新たに使用を始めたもので、学校としての利活用は広がりを見せており、当面、利用状況に変更はないとのことで、現在、空いている敷地はほとんど無い状態です。

北郷地区の旧学校給食センターについては、西根地区に新学校給食センターが完成したことから、平成28年8月1日付けで普通財産に用途変更を行い、その後、不動産鑑定評価を行い平成28年9月と平成29年1月に入札参加申込み受付を行いました。2回とも入札参加申込みがありませんでした。2月から申込み先着順で1,990万円で売却することとしたところ、3月末に市内事業者より申込みがありました。

旧小田小学校跡地については、平成25年7月に小田地区振興協議会長から「旧小田小学校跡地利用に関する検討結果報告書」を提出していただいております。旧小田小学校は、平成18年の耐震診断調査でIs値が0.509ということで、0.7基準の耐震基準に満たないものとされており、さらに、先の東日本大震災で給水管等に大きな被害がでております。その耐震改修工事に加え、利用に合わせた改造が必要なことから、多額の費用が見込まれますが、該当する補助事業が見当たらないことから、財源の確保が容易ではないという状況であります。自治センター機能につきましては、小田地区の人口規模等を考慮すると現在の小田自治センターの施設で十分機能が果たせると教育委員会では判断しておりますので、小田地区からの提案を具体化することは難しい状況であります。他の自治センター同様に、耐震化やトイレの男女別化の改修等で対応していきたいと考えております。今後、小田地区振興協議会から提出された報告書に対する回答で、地元の方に丁寧に説明していきたいと考えております。【生涯学習課、財政課、政策企画課】